

第4回広島市タバコ対策懇談会 会議要旨

1 会議名

第4回広島市タバコ対策懇談会

2 開催日時

令和7年8月25日（月）19:00～21:00

3 開催場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

4 出席委員（12名）

渡邊委員、久保委員、渡委員、河村委員、櫻井委員、金沢委員、静村氏（代理出席）、古田委員、中井委員、若狭氏（代理出席）、鉦前委員、星野委員

5 事務局

健康福祉局保健部参与(事)健康推進課長、環境局業務部業務第一課長、企画総務局総合調整課長
株式会社福山コンサルタント（分煙施設の実験的設置による効果の検証に係る調査の企画・運営等業務受託者）

6 議題

タバコ対策に係る実証実験について

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴人

0名（ただし、中国新聞社記者1名あり）

9 会議資料

資料1：タバコ対策に係る実証実験について

資料2：実証実験における喫煙率の減少に向けた取組について

10 会議要旨

タバコ対策に係る実証実験について

事務局（総合調整課）

－ 資料1「タバコ対策に係る実証実験について」を説明 －

事務局（健康推進課）

－ 資料2「実証実験における喫煙率の減少に向けた取組について」を説明 －

河村委員

- ・実証実験におけるアリスガーデンについて、防犯カメラはダミー（カメラ）でも良いため多数設置し、夜間照明は表情等が判別できるよう明るくすべきだと思う。
- ・パトロール・声掛けの強化について、ばい捨て防止指導員が危険なトラブルに巻き込まれる可能性があるため、例えば、カメラやボイスレコーダーを携帯する等、指導員の安全性の確保の手段を検討してほしい。
- ・音声によるマナー啓発の音声について、耳に留まりやすいこどもの声やバーチャルの音声を使用しているかどうか。

渡邊委員

- ・夜間照明点灯時間について、警察庁のコメントが書かれているが意図は何か。

事務局（総合調整課）

- ・夜間照明の明るさについては、周囲にホテル等も所在することから、光害等の影響を考慮しつつ実施したいと考えている。

渡委員

- ・照明や声かけといった取組によって、事件数や警察への通報回数といった指標から、周辺の治安がどのように変化したかを調査すべきではないか。
- ・パトロールの指導員は、どんな人がどれくらいの頻度で巡回する予定なのか。すでに巡回しているのか。

事務局（業務第一課）

- ・パトロールの指導員は、喫煙制限区域の設定時より配置しており、のぼり旗を持って巡回している。喫煙制限区域内での喫煙に対しては、最終手段として過料の徴収も行っている。
- ・指導員は県警や消防 OB の 2 名で、委託警備員 1 名を配置しており、1 チーム 3 名程度で 2 チームの体制をとっている。
- ・トラブルが生じるくらいであれば、過料の徴収はできなくてもやむを得ずというスタンスである。今のところ、パトロールを行っている指導員が関係した暴力事件やトラブルの事例は報告されていない。
- ・カメラやボイスレコーダーの携帯については、公務である以上、隠れて設置するのは適切ではないだけでなく、喫煙者の逆上を招く可能性がある。慎重に対応していく必要がある。
- ・パトロール頻度としては、基本的に毎日行っている。

金沢委員

- ・事前調査における膨大な検討について、感心している。
- ・しかしながら、資料 29 ページ目におけるぼい捨て率について、喫煙本数が減少した場合にもぼい捨て率が上昇している項目があることに違和感がある。

事務局（株式会社福山コンサルタント）

- ・資料 29 ページ目は、昨年広島市が実施した事前調査と今回実施した調査におけるぼい捨て率を比較している。しかし、事前調査は全数調査を実施していないため、喫煙本数と喫煙者数は倍率を掛けて算出し、吸い殻数は落ちているたばこの吸い殻の実数を集計している（今回実施した調査は全数調査を実施し、吸い殻数については事前調査と同じく実数を集計している。）。そのため、分数（の分母）が違う結果を比較しているため、29 ページ目だけを見れば単純比較はできない。あくまで比較は参考ということでご理解いただきたい。

櫻井委員

- ・実証実験の施設について、実証実験という文字を標記するのか。
- ・施設は恒久的に設置するのか、もしくは、期間を決めて撤去するのか。
- ・また、分煙施設の設置場所がアリスガーデン北東側へ変更することになったが、変更した場所は駐車場の入口付近となり、こどもの往来等が推測されるが問題ないか。

事務局（総合調整課）

- ・分煙施設に実証実験と表記するかについて、今のところは考えていない。
- ・分煙施設については、有効性が実験により示された上で、地元の方の意向やメンテナンス等の維持管理を実施いただけるといった条件が整えば、恒久設置を想定している。
- ・分煙施設の設置場所については、パーティションによってたばこの煙は人の高さを超えて上空へ上ることを想定している。分煙施設設置後に周囲の PM_{2.5} 濃度を測定し、もし周囲に受動喫煙が生じている場合には、設置場所の再検討が必要になると考えている。

渡邊委員

- ・分煙施設のスペースについて、路上喫煙者とたばこの吸い殻から喫煙者に対して不足することを懸念しているが、同時に何人ほどが喫煙することを想定しているか。
- ・また、分煙施設のスペースをより拡張することはできないか。

事務局（総合調整課）

- ・分煙施設内は4～5人が滞留できるスペースの広さを想定している。一度に多くの喫煙者が喫煙している状況ではなく、入れ代わり立ち代わり、喫煙者が滞留している現在のアリスガーデンの状況を鑑みての対応である。
- ・また、周辺に道路標識等が設置されていることから分煙施設のスペースをより拡張することは困難であった。

渡邊委員

- ・グラントパーキング 21 の分煙施設は設備をかなり改良されているが、アリスガーデンの分煙施設はグラントパーキング 21 までは広くないのか。

事務局（総合調整課）

- ・アリスガーデンの分煙施設はグラントパーキング 21 よりも狭いスペースとなる。

若狭氏

- ・グラントパーキング 21 の喫煙所を管理する中の棚商店街の尾崎氏から情報提供を受けたため報告する。以前の喫煙所はパーティションが低く、喫煙スペースも現在に比べ狭かったため、喫煙所の外で喫煙される方も多かった。そのため、周辺の方から受動喫煙に関する苦情があった。そこで、ベンチや自販機を撤去し喫煙スペースを広げた上で、パーティションを高くし、更に、ダクトにより煙を上部に排出したところ、状況が改善し、周辺の方からの苦情がほとんどなくなった。しかし、改修には多額の費用が掛かり苦労したため、分煙施設を改修するための補助金があれば、他でも応用できると考える。

渡委員

- ・実証実験の分煙施設はスペースが狭いと考えている。グラントパーキング 21 のように入りたいと思えるような分煙施設が作れたら利用されるのではないかな。
- ・事務局より、分煙施設について、場合によっては、恒久設置を想定している旨の話があったが、我々の立場としては、禁煙に向けた過渡期として実証実験に協力するが、目指すところは、喫煙する人やばい捨てがゼロになることを理想としており、広島市においてもその理想を目指してほしい。恒久設置はしないでいただきたい。

鉦前委員

- ・ばい捨て防止指導員のパトロールについて、広島駅周辺等では、たまにしか見かけないので、巡回頻度を増やして欲しい。
- ・広島駅周辺では、商業施設の中を除いて喫煙所がないため、土手沿いで喫煙する人が多く、受動喫煙が発生している。
- ・喫煙制限区域について、市民の認知度が低いと感じており、掲示等の啓発を強化して欲しい。

事務局（業務第一課）

- ・ばい捨て防止指導員のパトロールについては、喫煙制限区域全体を中区と南区の2チームでパトロールしており、苦情を受けた際にはそのポイントを強化してパトロールする等の対応をしているが、今後は、より効果的な配置をしていきたいと考えている。
- ・喫煙制限区域に係る掲示等の啓発について、喫煙制限区域内の場合は併せて喫煙場所の案内も必要になると思うが、喫煙場所事態のあり方を含めて当懇談会にて議論されているところであり、その結果を踏まえて総合的に検討していきたいと考えている。
- ・広島駅南口周辺の対策については、駅周辺まちづくり協議会から意見を伺いながら検討していきたいと考えている。

鈴木前委員

- ・広島駅周辺は人が増えており、今後、川沿いの河岸緑地の開発が行われる予定であり、「川の駅」は既に開発が進んでいる状況のため、受動喫煙が発生することがないように早めに取り組んでもらいたい。

事務局（業務第一課）

- ・広島駅には観光客が多いが、日本語の表示では分からないような観光客が多い印象か。

鈴木前委員

- ・日本語表示が分からない海外からの観光客は多いと思われるが、喫煙者は地元の人が多いと感じる。
- ・喫煙する場所がないかと聞かれると困っており、最寄りの喫煙所の場所が遠いため、場所を伝えても諦められることがある。

金沢委員

- ・グランドパーキング 21 の改修に感心した。グランドパーキング 21 を一つのモデルとして、分煙施設を公的な場所に多く作ることができれば効果は大きいと思う。

古田委員

- ・吹田市では、路上喫煙禁止地区の指定場所以外での喫煙に対する過料として、2,000 円徴収されることを非喫煙者も半ば常識のように認識している。当条例に関する掲示物が横断歩道や目につく至る所にあるため自然と頭に入っている。
- ・広島市においても、マナーを守ってもらえない方に対しては罰金を前面に押し出した形で抑止することも手段の 1 つと考える。

河村委員

- ・資料 2 の啓発ポスターについて、良い内容が記載されており、病院の院内に掲示することが有効であると考えます。
- ・リーフレットは手に取られることが少ないが、ポスター掲載の QR コードであれば、喫煙者が診察の待合時間にスマートフォンで読み取る可能性があるため、検討してもらいたい。

事務局（健康推進課）

- ・今回作成した啓発ポスターは喫煙所に掲示するよう作成しているため、当ポスターは実証実験の分煙施設と 6 か所の公衆喫煙所に掲示したいと思う。
- ・今後更なる喫煙率の減少を目指すためには、医療機関を受診されている方に禁煙を考えるきっかけを働きかけることはとてもよい機会だと思うため、ポスターやリーフレットの作成等、委員の先生方に相談させていただきながら、より効果的な媒体を使つての禁煙啓発を進めていきたいと思う。

渡委員

- ・啓発ポスターについては、吹田市の例ではないが、目につくことを目的として、病院に限らず、例えばマツダスタジアムやエディオンピースウィングスタジアムなど広島市所有の施設に数多く掲示してはどうか。

事務局（健康推進課）

- ・啓発ポスター①（喫煙の害に関する啓発）については、喫煙されている皆様へとなっているため、公衆喫煙所に限らず喫煙室等で活用できる方向で考えたいと思う。
- ・啓発ポスター②（禁煙のサポート体制）については、喫煙所に限らず様々な場面で使えると思うため、活用について検討していきたいと思う。

渡邊委員

- ・ポスターの掲示について、民間施設等においても、協力してもらえるところには広く対応していくと良いと思う。

中井委員

- ・JTにおいても喫煙所の場所を表示するマップのQRコードを喫煙所へ掲載したが、認知が高まるまでは効果的な結果が出なかった。資料2の啓発ポスターのQRコードへのアクセス件数の調査期間のスパンについて現状のイメージを伺いたい。

事務局（健康推進課）

- ・現在は、実証実験の期間中に掲示し、アクセス件数を確認したいと考えている。
- ・それ以降についても喫煙者の5人に1人がたばこをやめたいと思っている実態を踏まえて、効果的な掲示物であれば、引き続きの活用を考えていきたい。

星野委員

- ・現在、横川では効果的なたばこの対策を打てていないため、横川でも実証実験を実施してもらいたい。
- ・道幅が3メートルほどの商店街アーケード内において営業しているたばこ店の軒先に灰皿が設置されており、通行者である子どもや通勤される方が受動喫煙することを懸念している。
- ・しかしながら、たばこ店には自店の客以外にも近隣で働く人も喫煙目的で訪れるため、撤去したくても撤去できない状況である。
- ・そのため、横川駅のロータリー等を実証実験の分煙施設を設置できれば、たばこ店も灰皿を撤去できると考えるため、実証実験の計画に含めてもらいたい。

事務局（業務第一課）

- ・現状、横川でのたばこ対策については、「ごみゼロ・クリーンキャンペーン」でのティッシュ配り等の啓発活動にとどまっている。
- ・商店街アーケード内のたばこ店における受動喫煙への対策として、横川駅での実証実験の実施については、今後検討していく余地があると考え。
- ・喫煙制限区域内であるアリスガーデンでの検証とは別に、喫煙制限区域外での分煙施設の設置効果検証も有効な検討材料になると考えている。恒久的な施設を増やすのではなく、あくまで実験として捉え、効果検証を行いたいと考えており、横川地区での検討も1つの材料としたい。

渡邊委員

- ・多くの人が集まる場所は受動喫煙のリスクが高くなることが推測されるため、重点的に対策を考えていく必要があると思う。
- ・資料1における街頭アンケート調査について、喫煙本数や喫煙歴などの属性情報を聞いてはどうか。
- ・アンケートは紙の調査票を直接渡すのか、調査員が聴き取りで行うのか。

事務局（株式会社福山コンサルタント）

- ・プライバシーに立ち入らないことを前提とした上で、聴ける範囲で喫煙頻度等の属性情報についても調査内容に追加できないか検討する。
- ・アンケートの具体的な実施方法についてはこれから調整したいと考えているが、喫煙中の方にバインダーを渡し、アンケートへ回答いただくことを想定している。

渡邊委員

- ・アンケートの実施方法については、実施しながら場合によっては変更しながら行ってもらいたい。
- ・アンケート項目については、常習性等も聴いた方が良くと思った。

渡委員

- ・アンケート項目について、実証実験による環境の変化を防犯面や安全面も併せて確認してもらいたい。

渡邊委員

- ・実証実験による防犯面や安全面も併せた総合的な環境の変化については、商店街の方など周辺の方にプラスアルファで確認しても良いのではないかと。
- ・アリスガーデンでの実証実験について、分煙施設のスペースの問題はあるが、まずは効果検証を行うことが重要。分煙施設設置によるばい捨ての減少が期待されるため、引き続き進めてもらいたい。

- ・横川駅や広島駅周辺など、他のエリアでの対策も併せて検討していく必要がある。
- ・資料2のポスターについては、実証実験の期間にとどまらず、喫煙率減少に向けた取組として継続してもらいたい。